

神門通り線2工区ワークショップのながれ

第1回

道づくりについて考える

神門通り線2工区の事業の概要を確認し、安全で景観にも配慮した新しい道路のあり方について話し合います。

平成29年3月6日(月) 19:00~21:00

第2回

宇迦橋の景観について考える①

デザインコンセプト

宇迦橋やその周辺の歴史、景観の特性について学び、今後の景観検討に向けたコンセプト(基本方針)を話し合います。

平成29年5月中旬

第3回

宇迦橋の景観について考える②

デザイン案の提示

複数のデザイン案をもとに、宇迦橋やその周辺にふさわしい具体的な景観デザインについて話し合います。

平成29年7月中旬

第4回

宇迦橋の景観について考える③

最終デザイン

これまでのワークショップでの議論の内容を振り返り、宇迦橋やその周辺の最終デザインについて話し合います。

平成29年9月中旬

第5回

まちづくりについて考える

これからの宇迦橋周辺のまちづくりや、工事期間中のPRの方法などについて話し合います。

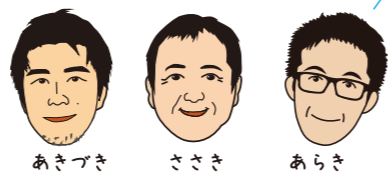
平成29年11月中旬

出雲県土整備事務所 都市整備課 からのメッセージ

「大社は島根県の大社でなくして天下の大社である」明治45年に開業した国鉄大社駅と出雲大社を結ぶ県道の整備について、当時の高岡直吉県知事は県議会でこう答弁し、六間幅の直線道路を主張して譲らなかったといいます。『神門通り線2工区』は、正に大社神域への入り口を一新しようとする事業です。

当時の先人方の意志を未来へ継ぎ、地域にとって何が真に必要なかを見極め、マネジメントしながら計画をしっかりと練ることが、我々道路事業者の仕事だと思っています。

来月から始まる5回のワークショップを通して、皆さまの様々な声を聞かせていただければ幸いです。(荒)



島根県出雲県土整備事務所 都市整備課 〒693-8511 島根県出雲市大津町1139 TEL:0853-30-5667 FAX:0853-30-5675

先生方からのメッセージ

総合コーディネーター 桑子 敏雄 教授

第1工区では、「祈りの道、そして出会いの道」が見事に実現しました。多くの方がよいご縁、すてきな出会いを求めるすがたを見ながら、神門通りの整備に参加できたことを誇りに思っています。第2工区は、宇迦橋です。参拝に訪れる人々は、大鳥居の向こうの神門通りにわくわくしながら、堀川を渡ります。その楽しみをどうデザインするか、みなさん、しっかり語り合いましょ。



交通アドバイザー 橋本 成仁 准教授

神門通りをより歩きやすい空間とすることを目指し、歩行者と自動車の融合を図った第1工区は、安全性と利便性、楽しさを併せ持つ質の高い空間になったと思っております。第2工区は吉兆館前～宇迦橋～大鳥居と神門通りへの期待感を高める空間づくりが焦点となります。神門通りの総仕上げ、しっかりと議論を積み重ねましょ。



景観アドバイザー 小野寺 康氏

平成25年の出雲大社大遷宮(本殿遷座祭)を契機に神門通りは甦り、人の流れが増えて活気が戻った実感がありますが、私の中ではまだ神門通り(平成の大修理)は終わっていません。今回この第2工区こそがその総仕上げであり、画竜点睛の一筆です。まさに「青竜」の眼を、皆さんとともに瑞々しく描き上げたいと思っています。



神門通り線2工区ワークショップ

ニュースレター

1号

平成29年2月20日

【第1回】神門通り線2工区ワークショップのご案内

議題 神門通り線2工区の道づくりについて考える

■日時：平成29年3月6日(月) 19:00~21:00

■場所：出雲商工会 3階大会議室

(〒699-0711 出雲市大社町杵築南1344)

■車道や歩道の幅は？

■ラインや縁石はどうなる？

■石畳はどこまで？

■申し込み：不要

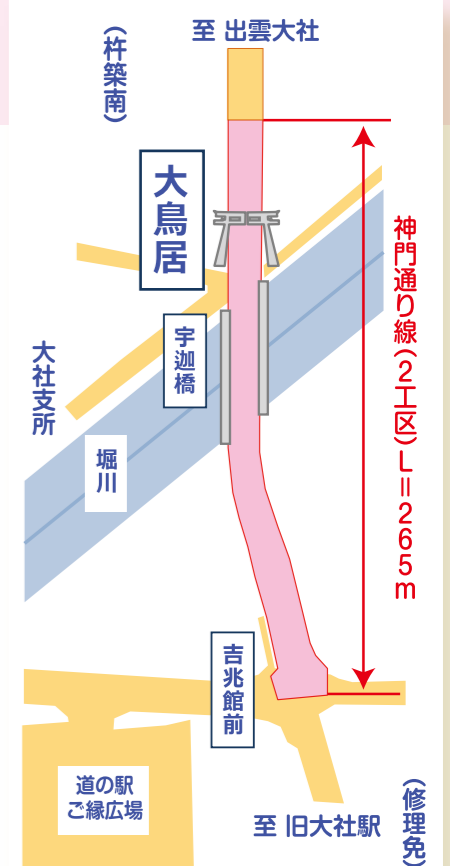
■問い合わせ：島根県出雲県土整備事務所 都市整備課
(担当：荒木) ☎0853-30-5667

神門通り線の街路事業の実施にあたっては、これまで道づくりや景観のワークショップを計9回にわたり開催し、広く地域住民、沿道関係者の皆さまの意見を聞きながら、道路整備や景観の計画を検討してきました。

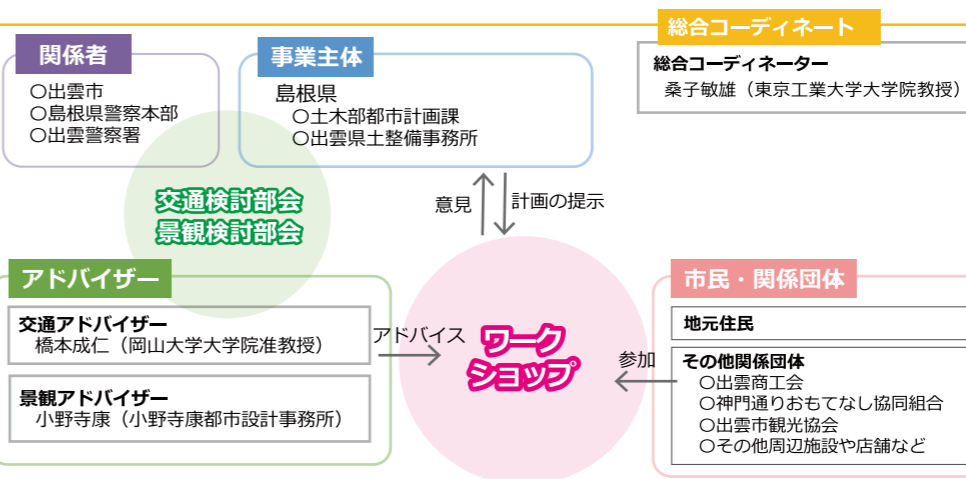
これから事業を始める2工区(大鳥居北～宇迦橋～吉兆館前)でも、出雲大社門前の玄関口を象徴する大鳥居や宇迦橋などまちの景観を考えるうえで重要なポイントが多く存在していることから、これまでと同様にワークショップによる地域の合意形成を図り、それをもとに事業を進めていくこととしています。

将来にわたり地域の方や観光客などから愛される道を作るためには、皆さまの意見が必要です。

どうぞ奮ってご参加ください!



ワークショップの実施体制



平成23年8月に開催されたワークショップの様子

神門通り線2工区（大鳥居北～宇迦橋～吉兆館前） に着手します。

宇迦橋を架け替えます



宇迦橋は架橋から80年近くが経過し、老朽化が進んでいます。最新の耐震基準を満たす新しい橋梁に架け替えることで、緊急時にも安心して通行できるよう改善します。なお、工事中は仮橋により迂回路を設置する予定です。

歩道を広くします



現在の歩道幅はとても狭く、歩行者や自転車をはみ出して通行する姿がよく見られます。宇迦橋を架け替え、宇迦橋より南は東側に拡幅することにより、道路全体の幅を12mとして安全な歩行空間を確保します。

美しい景観を作ります



宇迦橋周辺の景観は、デザインの統一性がとれていないのが現状です。神門通り、大鳥居、堀川など周辺景観との調和に配慮しながら、道路に係る景観要素を一新し、門前町にふさわしい良好な景観を形成します。

電線を地中化します



道路や堀川の上空には多数の電線が縦横無尽に張り巡らされており、大鳥居や宇迦橋周辺の良好な景観を阻害しています。電線類を地中に埋め、歩道上の電柱を撤去して、景観の向上と合わせて歩行空間の確保を図ります。

長期的スケジュール(イメージ)

※下記はあくまでも予定であり、設計や工事の進捗により大きく変更となる可能性があります。

		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
ワークショップ		●●●●●						
予備設計	道路の予備的設計	●●●●						
	橋梁の予備的設計	●●●●						
	電線共同溝の予備的設計	●●●●						
↓								
詳細設計	道路の詳細設計		●●●●●					
	橋梁の詳細設計		●●●●●					
	電線共同溝の詳細設計		●●●●●					
↓								
用地補償	用地・物件調査		●●●●●					
	用地買収、物件補償			●●●●●●●●				
↓								
工事	迂回路工事				●●●●●			
	橋梁工事				●●●●●●●●●●●●●●●●			
	電線共同溝工事				●●●●●●●●●●●●●●●●			
	道路改良・舗装工事					●●●●●●●●●●●●●●●●		

〈神門通り線2工区〉4つのポイント

